

生活環境常任委員会

生活環境常任委員会では、「地域公共交通について」をテーマに調査研究を行っています。

この地域公共交通について市民意見を聴取するため、1月23日、桜ヶ丘地域にて老人会の会員の方の送迎ボランティアに取組まれている「桜ヶ丘の移動を考える会」と意見交換を行いました。

安全第一！周到的計画と準備で！

「桜ヶ丘の移動を考える会」は2019年6月に、多摩市役所高齢支援課や多摩市社会福祉協議会などの協力のもと桜ヶ丘地区の住人代表で発足しました。2020年1月より実証実験を行い本格稼働へ移行しましたが、コロナ禍により一旦中断となり、2021年4月から会員送迎を再開しています。

現在、個人所有の車両を無償借用し、桜ヶ丘集会所にて行われている桜寿会(老人会)への移送サービスをボランティアで月2回行っています。最重要は安全と考え、マニュアルの作成や講習会の受講、また毎回運行予定表をつくり事前打ち合わせを行う等、安全方策をとりながら運行しています。

人材第一！コミュニティ力が結実！

利用者からは大好評で、移送サービスにより桜寿会への参加希望者は増加しています。アンケートからも「送迎がなければ、家でぼーっとしているだけだった」「家族に送迎を頼む

のは気が重いけど、送迎があるから家を出られる」との声が寄せられており、高齢者の外出と交流機会に繋がっているこの活動は、健幸都市宣言の実現に大いに貢献している取組みと感じました。

課題としては、桜寿会以外でも利用をしたいというニーズは高いが、ボランティアは自分の時間を犠牲にして活動しているため、要望に応えきれないということ。また高齢化に伴う担い手不足から、継続性が挙げられます。

素晴らしい取組みですが、市内全域に広げることは、地域性や人材が様々であることから難しいと考えます。視察した茅野市のようなAIを活用した公共交通が求められるといった共通認識に至りました。



子ども教育常任委員会

11月28日「多摩市私立幼稚園協会園長会」、11月29日「多摩市私立保育園園長会」、1月17日「たま食ねっと。」、1月18日「多摩市認証保育所連絡会」の皆様から、運営に係る現状や課題などをお伺いしました。

子ども食堂・誰でも食堂の現状と課題

多摩市内の子ども食堂・誰でも食堂などの団体からなる「たま食ねっと。」の皆様から、食事の提供を通じて子どもの見守り等に貢献されている中で、特に力を入れている取組みや特色ある取組み、行いたい課題があり、実施に至っていないことなどについて伺いました。

コロナ禍以降はお弁当の配食を希望する方が多く、食堂で子どもたちの様子がわかりづらくなっていること、公的な支援が必要な人の情報を、行政や教育現場に繋げていく連携が必要であること、補助金の使い勝手に課題があることなどがわかりました。

幼稚園・保育園・認証保育所の現状と課題

幼稚園からは「他自治体よりも低い保護者補助金の拡充」「職員確保への協力」「人件費への支援」、保育園からは「0歳児の定員が埋まらず経営を圧迫している」「育児困難家庭が増えている」、認証保育所からは「建築費・修繕費等の補助金が無い等、様々な補助金の格差是正」など、多くの課題とご意見を伺うこ

とができました。

意見交換の後、委員会で振り返りを行った際には、「少子化への取組み」「人手不足への取組み」「各種補助金のあり方」「各種施設の対象者のすみわけや全体的なバランス」などが各施設の共通の課題として挙げられました。

それぞれが多摩市の子どもたちの豊かな育ちのために工夫されている様子を伺い、感謝の気持ちでいっぱいです。

子ども教育常任委員会では、伺ったご意見について市の現状や方針等の確認を行い、多摩市を「子育てにやさしい街」と言って頂けるように頑張ります。

